

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	胃癌周術期の Systemic inflammation score と予後の関係
	研究目的	全身の炎症反応を伴う悪性腫瘍は予後不良であることが知られています。手術によって引き起こされる全身の炎症が、長期生存・再発に関係するかを評価するため、血清アルブミン値(Alb)とリンパ球単球比(lymphocyte-to-monocyte ratio: LMR)で規定される Systemic inflammation score (SIS) を評価します。術前、術後1週間、術後1か月の SIS を計測し、と長期生存・再発との関係を解析します。
	研究対象者	2008年~2013年の期間に当院で胃癌の診断で胃切除術を受けた方
	研究期間	西暦 2018年 12月 21日 ~ 西暦 2019年 3月 31日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input type="checkbox"/> その他(記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の 管理について の責任者	当センター 研究責任者	大島 貴
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診 療科/部局等	消化器外科(胃食道)
	共同研究の場合、共同 研究機関および各施設 での研究責任者	なし